



小金小だより 1月号

令和6年1月9日
松戸市立小金小学校
校長 西郡 泰樹

校訓 なかよく・ただしく・たくましく



「新しい年に、心を育てる教育を大切にしていきたいという思い。」



令和6年が始まりました。今年もよろしくお願いいたします。昨年は、小金小学校創立150周年を迎えて、様々な取り組みをおこないました。その一つひとつが、本校にとって意義のあるもので、これからの小金小学校のためになっていくということを願いながら取り組んできました。子どもたち、関係する地域の方々、たくさんの卒業生、現職員、旧職員と、みんなで祝うことができ、本当によかったと思います。

しかしいつまでもその余韻に浸っているのではなく、新たなスタートをきらなければなりません。これまでの伝統を守りながら、新しい学校づくりのスタートの年です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

新年を迎え、日本には昔からこのお正月における独特の様々なけじめやしきたりをずっと大切にしてきた文化があります。しかし、現在、こうしたものを軽くとらえてしまっているような感じがします。そんな中で、クラブ活動の時間にお茶をご指導いただいている先生から「作法は礼儀であること、ありがたいの気持ちは形に出る。」というお言葉をいただきました。そこには「心を込める」という意味が含まれているのだと思います。堅苦しいと思われがちな作法ですが、そこには、『相手のことを大切に』と考える礼儀が含まれているということなのです。すべて所作は、こうした事を意識しているか、いないかで違ってきます。わかる人には、それが形としてありがたいの気持ちとなって伝わるのです。日本人として特にこの時季は、感謝の気持ちや相手を大切にすることを忘れずにいたいものです。

2学期の子どもの言葉の中にも「たとえ花が上手に咲かなくても、地域の方々の笑顔のためにできることは多くある。」というのがありました。また「育てる花を決めるときには、仕事帰りの方が『明日も頑張ろう』と思えることを大切に考えました。」という言葉も聞かれました。それぞれとてもうれしくなる言葉でした。ここにも感謝の気持ちやありがたいの気持ち、誰かに喜んでもらおうという心がありました。一人でも多くの子どもの心に響くこうした教育活動を、今年もがんばっていききたいと思います。

地域の皆様、保護者の皆様には創立150年となった昨年はいろいろとお世話になりました。本校の教育活動に多大なるご理解ご協力をいただきましたことを改めて御礼申し上げます。そして、新しい年におきましても、引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育はみんなで 校長 西郡 泰樹



学校に元気な子どもたちの声に戻ってきました。2024年もみなさんにとって良い年でありますように…